

## 褐変低減バナナ（TRB011002系統）の取扱いについて

農林水産省消費・安全局農産安全管理課

「褐変低減バナナ（TRB011002 系統）」について

英国 Tropic Bioscience（以下「トロピック社」）が開発。ゲノム編集技術によりポリフェノールオキシダーゼ（PPO）遺伝子の機能を欠失させることでPPOの産生を抑制し、果肉の褐変を低減。

当該バナナの生果実及び加工品のみを輸入する場合のゲノム編集通知<sup>(注)</sup>上の取扱いについては、以下の理由により、確認手続は不要とする。

- トロピック社より、「種苗・果実の生産を通じて非ゲノム編集バナナと区別して管理するとともに、増殖力のある苗や穂木は輸入せず、生果実及び加工品のみを輸入する」との回答があったこと
- 宿主であるバナナ（キャベンディッシュ種）は、3倍体のため種子形成は起こらず、また、果実には生長点もないことから、自然環境下で生果実から個体に生育することは想定されないこと
- 本褐変低減バナナは、メラニン生成系に関わる酵素ポリフェノールオキシダーゼの機能を欠失させたものであり、本改変によって、種子形成、発根及び発芽するといった特性が付与されることは想定されないこと  
加えて、本褐変低減バナナの生果実の断面の写真から、種子が形成されていないことが確認できたこと
- 食品及び飼料安全の観点からの手続きにおいて、遺伝子組換えに該当しないこと、意図しない変化が生じていないことが確認されていること

注 「農林水産分野におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の生物多様性影響に関する情報提供等の具体的な手続について」（令和元年10月9日付け農林水産省消費・安全局長通知）